事業番号	05 08 22	事業改善シート(28年度実施事業分)	口予算	要求	口当初予算家	≅ □補正予算案	■点検			
事業名	総合リハビリテーションセンター運営事業			-	部局	健康福祉部				
争 未 つ				担当	課·局·室	障がい者支援課				
炒 今 ら か 在	プロジェクト			課	E-mail	shogai-shien@pr	ef.nagano.lg.jp			
総合5か年 計画	施策の総合的展開	6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり 2 障がい者支援の充実		5	実施期間	S23 ∼				
 人口定着・	信州創生の基本方針	11 11 21 1 1			1,00777.	221				
では 確かな暮ら し実現総 合戦略	施策展開									
目指す姿	す姿 障がい者に対する相談、判定、医療、機能訓練などの総合的なサービス提供を通じて、在宅復帰や社会復帰に向けて切れ目なく支援し、障がい福祉の向上に寄与する。									

現状 (予算編成 時)

- 応している。 ・施設部門における機能訓練等の利用者数は、日平均62.2人(H26)となっており、増加傾向にある。
- ・病院部門では、、主に脊椎・関節疾患に係る外科手術を伴う専門的高度医療及び脊髄損傷や切断肢の患者、高次脳機能障害等の患者に対する専門的治療を行っており、入院患者数は759人(H26)となっており増加傾向にある。

・身体障害者更生相談は、更生医療、補装具、身障手帳に関する相談や生活相談など年間6千件を超える相談に専門職員が対

・補装具製作等件数は、418件 (H26) となっており減少傾向にある。

県が関与 する理由 県関与の必要性あり 県民との協働による実施: 実施は困難

【左記の説明、根拠法令等】

- ・身体障害者更生相談所は設置義務有(身体障害者福祉法第11条第1項)
- ・更生相談業務と連携した質の高い医療・福祉サービスを提供する必要がある。

① 成果目標(H28)

- ・総合リハビリテーションセンター使用料収入額:13億円以上(第三次計画推進プラン目標値)
- ・医業収入の確保:病院職員給与費の1.9倍以上(第三次計画推進プラン目標値)

②事業内容

(単位:千円)

	項目	実施方法	H28事業実績		1120		П29
	マロー	大旭カ仏	1120爭未大順		(当初)	(決算)	(当初)
成果目標・	肢体に障がいのある方等の 社会生活への早期復帰を目 指した支援	直接	・障害者支援施設運営事業 ・補装具製作施設運営事業 ・病院運営事業		920,446	862,153	874,073
事業内容							

 合計
 920,446
 862,153
 874,073

 区 分(単位:千円)
 27年度
 29年度
 成果目標の達成状況

	≥	△ 分(単位:十円)		2/年度	28年度	29年度
	-	前年度繰越 当初予算				
	予質			878,417	920,446	874,073
事	算額		補正予算	33,462	-2,067	
業	-20		合計(A)	911,879	918,379	874,073
~			一般財源		1,084	0
⊐	Aσ.) [県 債		23,000	0
_	財派	亰	国庫支出金	1,086	1,086	1,225
ス			その他	910,793	893,209	872,848
١	決		算 額(B)	889,603	862,153	
	概	算	職員数(人)	134.00	134.00	135.00
	人件費		概算人件費 (C)	1,108,984	1,060,476	1,068,390
	概算	概算事業費(B(A)+C)		1,998,587	1,922,629	1,942,463

及朱古禄 5 是然									
項目	H26末	H27末		H29					
供日	п20/	пил	目標	成果	達成状況	目標			
使用料収入	14. 4億円	14.5億円	13億円 以上	14.1億円	達成	J			
医業収入の確保	2.1倍	2.06倍	1.9倍 以上	2.0倍	達成	J			

目標に対 する成果 の状況

外来患者数や入院患者延数のは堅調であり使用料収入、医業収入の確保、病床利用率とも目標を達成した。

施設利用率は、ショートステイ利用は施設退所者の定期的利用が増え、利用者が増加(H27:63人→H28:90人) したが、他介護保険施設の利用等により新規施設利用者数は減少(H27:69人→H28:57人)した。

2 今後の事業の方向性

今後、事業 をどのよう にしていき たいか □ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施

身体障がい者のための相談、判定、医療から自立訓練、職業訓練を行う県内唯一の複合施設として、障がい者の社会復帰、在 宅復帰の総合的な支援を行う。また、増加する高次脳機能障害者の支援拠点施設として中心的な役割を果たす。